

失敗に負けない子に育てる本 星一郎 著より抜粋

ただ『叱る』より、次への『やり方』を教える

電車で騒ぐ子には、叱るより他人の迷惑を気付かせる。

「早く起きなさい」の繰り返しで、ますます起きない子になる。

「悪口を言うな」より「悪口を言われた身になる」方が心に響く。

お金の持ち出しは罰するより、やりくりと交渉術を教える。

性格の欠点を指摘するより、具体的な解決策で子供は変わる。

無理な計画は止めずに、修正させることを学ばせる。

「親に手伝って欲しいこと」も子ども自身に決めさせる。